

しあわせ南流

南流山地区社会福祉協議会
広報部事務局
会長 市川 誠
南流山 8-6-1-1-705
TEL 7140-7152

地区社協は15歳

南流山地区社会福祉協議会は、その前身となる流山市社会福祉協議会の地区ぐるみ福祉ネットワーク事業の「南流山地区ぐるみ福祉ネットワーク事業推進委員会」の発足(平成3年2月16日)から15年となります。しかし、ご存知でない方も多いかと思しますので、本地区社協について紹介します。

社会福祉協議会(略して「社協」)は国の社会福祉行政の一環として位置付けられ、千葉県社会福祉協議会、流山市社会福祉協議会、そして地区社会福祉協議会と階層構造になっています。県と市の社協は社会福祉法人であるのに対し、地区社協はボランティア組織です。南流山地区社協は上記の委員会から平成11年5月5日に改組されて生まれました。受持ち地域は木、南流山2丁目、3丁目、6丁目、7丁目、8丁目の南流山小学校区です。そして南流山自治会、木自治会、南部自治会、南流山壱番街自治会、南流山貳番街自治会の役員さん、南流山小学校の校長先生、民生委員、母子推進委員、婦人会の皆さん、長寿会と寿楽会の皆さん、地区ボランティア「水仙の会」の皆さんが地区社協の主なメンバーとなっています。そして流山市社会福祉協議会からの補助金、行事参加者の参加費、敬老事業に対する市報奨費、寄付などで支えられ、地域の皆さんの交流と健康維持を軸に活動しています。

行政の大きな流れに「地域へ」がありますが、本地区社協は、まだ、メンバーが少なく、皆さんの期待に応えられないところにあります。本地区社協の活動にご理解、ご協力いただける方、是非、ご一報ください。

(TEL 7140-7152)

『健康を支える栄養学』フェア案内



栄養バランスを考えた献立
(2005年シンポジウムより)

日時：平成18年1月30日(月)午後1時30分
～ 2月3日(金)午後1時30分
問合：流山市国保健康支援室(7158-1111代)
備考：入場無料

人の体の白血球、赤血球、皮膚、胃腸などの細胞が入れ替わっているのはご存知の方も多いと思います。そして栄養素が不足すると、細胞の入れ替わりがうまくいかず、病気の原因ともなります。

流山市国民健康保険主催の本フェアは昨年1月30日開催の『健康を支える栄養学』シンポジウムに続くもので、「正しい食生活」を学び、皆さんの生活習慣病の早期回復と発症予防のお手伝いを目的としています。下記の展示と保健師による健康相談コーナーがあります。お気軽にご参加ください。

【展示コーナー】

- ・ 「正しい食生活」で健康を回復した方や短期間で健康的に減量できた方などの体験例
- ・ 「健康を支える栄養学」を知るための資料 他

『南流山展』開催の案内



かやぶき屋根の家とこいのぼり(昭和3年頃小林家)

日時：平成18年3月11(土)～12日(日)
午前10時～午後5時(12日は4時まで)
場所：南流山センター 講座室
展示物：地域の昔の写真や資料など
問合：市川(TEL & FAX 7140-7152)
備考：入場無料

昨年3月開催の『第2回南流山展』では南流山の昔の景色をとらえた写真と、南流山小学校の子供達の地域や学校の生活をハガキに描いた絵を展示し、多くの方に見ていただきました。今年も同様に第3回南流山展を開催します。南流山地域の昔を写した写真をお持ちで展示にご協力いただけるようでしたら、上記問合先までご一報ください。

昨年と同様、多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

『家の中を安全に』 の勉強会の案内



日時：平成 18 年 3 月 11 (土)
午前 10 時 ~ 12 時
場所：南流山センター 会議室
問合・参加申込：市川 (TEL & FAX 7140-7152)
備考：無料

「家の中は安全」と思いがちですが、本当にそうでしょうか？ 国民生活センターの 1999 年の『家庭内事故に関する調査報告書（要約）』によりますと、家庭内における不慮の事故で死亡する人は年間 1 万人を超え、乳幼児や高齢者においては交通事故死より家庭内事故死の方が多いいわれています。原因として「誤えん（食物などが食道でなく気管に入る）による窒息」、「溺死・溺水」、「階段等からの転倒・転落」が約 80% を占めます。特に 0 歳児では「誤えんによる窒息」が 3/4 を占めるといわれます。けがでは擦過傷・挫傷・打撲傷、刺傷・切傷、熱傷、異物の侵入、骨折が全体の 93% を占め、これらの 1/3 が転倒・転落をきっかけに起きています。また、事故発生場所は居間が 36%、台所が 23%、階段 13%、浴槽・風呂場 8% とのことです。

これより、「安全」という目で家の中をもう一度、見直す必要があることがわかります。その第一歩は家の中の不要物の片付けと整理整頓といえます。これは今後、想定される大地震への安全対策ともなります。

骨粗しょう症と診断された場合、食生活の改善や日常的な運動を取り入れて転倒しにくい体作りをすることが重要です。さらに階段などに手摺を設備して転倒しない住環境とすることも重要です。けがで不自由な生活を強いられるよりも、予防対策をしてけがと無縁の生活を送れる方がよいですね。

本勉強会は、「家の中を安全に」をテーマにご高齢の方がお住まいの世帯、あるいは将来に向けて安全な住環境とすることに関心のある方を対象に、住環境の整備について学びます。講師として福祉住環境コーディネーターの方を予定しています。ご関心ある方、是非、ご参加ください。

【参考】

家庭内事故に関する調査報告書（国民生活センター）
http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-19990604_3.php3

「いきいきシニアの会」の報告

南流山地区社会福祉協議会主催の「第 2 回いきいきシニアの会」を 10 月 2 日(日)に南流山センターで開催しました。平成 17 年 4 月 1 日現在、南流山小学校区の 70 歳以上の方は 641 名、そして代理の方を含めて 216 名の方に会にご参加いただきました。

会長の開会挨拶、井崎市長の祝辞、地区最高齢者紹介と喜寿・米寿の皆さんへのお祝いの後、南流山中学校吹奏楽部の生徒によるキヨシのズンドコ節、演歌メドレー、時代劇スペシャルと題した吹奏楽演奏、南流山小学校音楽部の児童による「なつかしの歌、あの曲、この曲」と題した懐かしい歌の数々のリコーダー演奏、そして幼児教室「かぜのこようちえん」の園児による歌と合奏を楽しまれました。

続く在宅介護支援センターの尾崎由美さんによる講演『いつまでも若々しく』では、家の中でできる体操の指導にあわせて皆さん、体を動かされていました。

寿楽会の皆さんによる歌、長寿会の皆さんによる合唱の後、ボランティアのメンバーと会食を楽しまれ、午後は芳泉会の皆さんによる「深川」などの江戸踊り、華多美さんの新舞踊、そして、参加者全員の合唱で会を楽しく過ごされました。

昨年と同様に南流山小学校、南流山中学校の子供たちにボランティアとして協力してもらい、大変、盛況なうちに会を終えることができました。



寿楽会の皆さんによる合唱

他の南流山地区社協の活動報告

10 月 17 日、南流山自治会館で市保健センターの協力を得て在宅介護教室を「すいせんの会」と共同実施しました。運動に加えて、歯科検診の重要性を教えてくださいました。

11 月 12 日、ふれあいのつどい(グランドゴルフ)を南流山小学校グラウンドで開催しました。

11 月 26 日、健康講座で大町公園(市川市)へ行き、紅葉狩りを楽しみました。